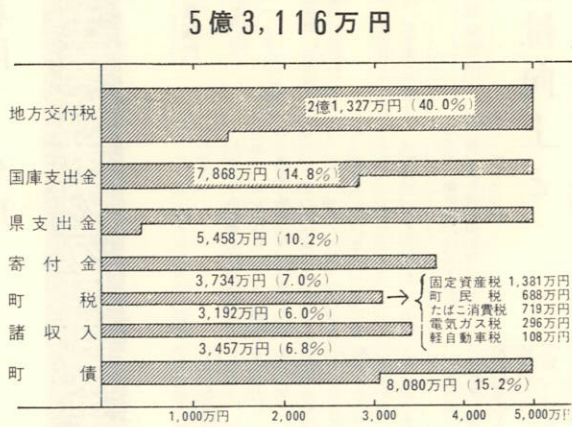


広報 伊方町

発行所 伊方町公所
編集 伊方町公所
印刷 尾上印刷所
電話 0991-288

入ったお金の構成



45年度 町の台所報告

堅実な財政運営

昭和四十五年年度の算入、一般会計の決算ができました。そこで町の台所状況はどうなっているのか、簡単にのぞいてみましょう。

この状況をみてみますと、昭和四十五年年度の決算規模は、本町発以来はじめて五億円、一般会計の合計において六億円の大会計となりました。

なお、一般会計(一般、国保、水道、公共用地取得先行事業特別会計)は、過去三年間連続して黒字決算となっています。

実質黒字額 百十八万円

一般会計においては、昭のようにお金が入り、使われるか四十四年財政再建計画を終了して、過去五年連続黒字決算をみることもできました。これは堅実な財政運営をつづけてきたものです。

国保会計は、昭和三十九年のつまずきをのぞけば、順調な財政運営をみせています。

連年赤字をつづけていた水道会計も、昭和四十二年以来、自主再建が軌道にのり、昭和四十五年年度には五十二万円の不良債務を解消し、昭和四十二年以来累計三百三十万円の不良債務を解消しました。

公共用地先行取得事業特別会計は、今年度二百五十万円の先行取得を行いましたが、年度内消化ができたので、概算としては前年度からの繰越金八万七千円がそのまゝ年度に繰越さず、町民のみなさんの深いご理解とご協力のたまものです。

使ったお金

4億9,948万円

◎町民1人当たり 52,990円
(46.1%現在の人口で計算)



(一般会計の) 決算内容

一般会計について町の台所と

使ったお金では、土木費十七・〇%が横綱で、農林水産業費十五・四%、総務費十四・二%、ついで教育費十二・一%、災害復旧費十一・〇%、民生費十・七%とづいていきます。

前年度一位だった総務費が二位に、これは四十四年度に庁舎改築を実施したためです。

前年二位の土木費が一位に、三位の農林水産業費が二位となり、多くの投資的経費を含む、科目が上位を占めています。

使ったお金 (歳出)

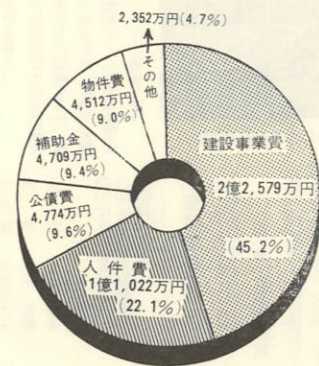
1世帯当り 204,537円
1人当り 52,990円

入ったお金 (歳入)

町税は 6%

入ったお金のトップは四十%

性質的にみた使ったお金



昭和四十五年に 行なった事業内容 舗装七千トメル 火葬場やプールも建設

占める地方交付税、ついで町債の十五・二%、国庫支出金の十四・八%、県支出金の十・二%の順位になっています。

国、県への依存財源である自動車取得税交付金、地方交付税、国庫支出金、地方債を合算しますと八十二・二%となり、昭和四十四年度の七十四・七%に比べて、五・五%依存率が高くなっています。

これは、自主財源の増進である教育費十二・一%、災害復旧費十一・〇%、民生費十・七%とづいていきます。

前年度一位だった総務費が二位に、これは四十四年度に庁舎改築を実施したためです。

前年二位の土木費が一位に、三位の農林水産業費が二位となり、多くの投資的経費を含む、科目が上位を占めています。

この使ったお金を性質別に分析してみますと、普通建設事業三二・五%、災害復旧、失業対策事業五・二%を加えた投資的経費が四十五・七%となっており、前年度の普通建設事業四十六・八%、投資的経費総額で五十三・一%といいた構成比がみえます。かなり低くなっていますが、これは前年度において、積立金取り出し、財産売却代等、臨時収入を引き当てて庁舎改築という大事業をなしたためです。そして、反面、消費的経費の多くをしめる人件費は前年の二二・二%が二二・一%に、公債費は九・三%が九・六%に、また決算額においても、人件費は八千八百八十万円が一億一千二百二十一万円に二五・一%の増、公債費は三千八百七十八万円が四千七百七十四万円に二一・三%の増とかなり大巾な増加状況を示しています。

最後に使ったお金四億九千九百四十八万円が、本町の1世帯当り町民一人当たりどのくらい使ったことになるかという、1世帯当り二十万四千五百三十七円町民一人当り五万二千九百九十九円使った額定になります。

町税が、四十四年度が七・二%です。こうしたなかで、財政力の弱さ四十四年度六・八%、四十五年においては六・〇%と年々低下の傾向をのぞき、各般の財源を求め、積極的な建設事業を推進したあらわれです。

◎災害復旧事業
 仁田之浜農道新設九百五十六万円
 九町長崎線道路新設工事三百万円
 町道新設伊方越線舗装 八百五十万円
 町道新設伊方越線舗装 八百五十万円
 四十二号線舗装新設六百八十八万円
 亀ヶ池線舗装新設四百四十四万円
 町道舗装工事 二百三十三万円
 大浜新興農道舗装 百二十七万円
 津浦東線舗装工事 百十四万円

◎公共道路復旧(十四カ所)
 九町物場復旧 一千四百三十三万円
 大成防波堤復旧 六百五十六万円
 小沢道路復旧(二十六カ所) 二百三十三万円
 亀ヶ池線舗装復旧 二百三十三万円
 伊方越線復旧 八十四万円
 伊方火葬場復旧 四百四十九万円
 学校施設災害復旧 百九十九万円

◎農林水産業費
 キャンターダンク購入 九十万円
 ゴミ焼却炉工事 三百三十六万円
 ゴミ焼却場敷地造成工事費等 百五十四万円
 ゴミ収集車購入費 百八十八万円
 九町線線路修繕工事 百三十六万円
 伊方線線路修繕工事 百三十六万円
 川永田第一臨港線修繕工事 四百一十九万円
 九町物場復旧 一千四百三十三万円
 大成防波堤復旧 六百五十六万円
 小沢道路復旧(二十六カ所) 二百三十三万円
 亀ヶ池線舗装復旧 二百三十三万円
 伊方越線復旧 八十四万円
 伊方火葬場復旧 四百四十九万円
 学校施設災害復旧 百九十九万円

